

私保連とくしま



発行：徳島県私立保育園連盟
 発行人：会長 大和 忠広
 〒770-0943
 徳島市中昭和町1丁目2番地
 徳島県立総合福祉センター内
 tel. 088-654-4461
 fax. 088-656-1173
 印刷：グランド印刷(株)



第65回全国私立保育研究大会徳島大会特別号

大会テーマ **子どもの笑顔∞まけまけいっぱい**
 ～子どもが真ん中の社会を目指して～



もくじ

徳島県未来創生文化部こども未来局
 こどもまんなか政策課長挨拶 ……………P2

県私保連 会長挨拶 ……………P3

第65回全国私立保育研究大会徳島大会 ……P4

徳島県青年保育者連合会 ……………P7

新園（所）長紹介 ……………P9

御挨拶



徳島県未来創生文化部こども未来局 こどもまんなか政策課長 大井 文恵

徳島県私立保育園連盟の皆様には、日頃より、本県の児童福祉行政、とりわけ保育行政の推進に多大な御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国の出生数は80万人を割り込み、過去最少を更新し、今後更に少子化が加速することが懸念されています。

こうした中、国においては、少子化対策の強化に向けて、「こども未来戦略方針」を閣議決定し、今後3年間を集中取組期間として、「加速化プラン」に取り組むとされております。

同プランでは、子育て支援について、「量の拡大」から「質の向上」へと政策の重点を移すこととし、幼児教育・保育の質の向上として、75年ぶりの職員配置基準改善と更なる処遇改善が掲げられております。

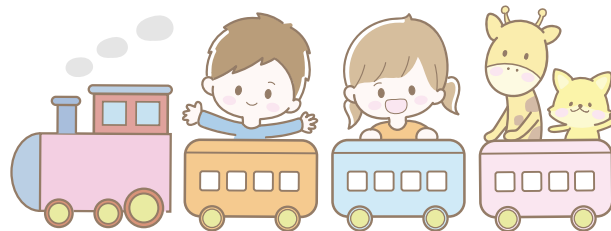
県におきましても、これまで「徳島ならではの」保育サービスの実践など市町村の主体的な取組を支援する交付金事業の推進に加え、「保育士・保育所支援センター」の機能充実によりまして、保育人材の確保などの取組を進めてまいりました。

今後も、国の動向を注視しながら、市町村との緊密な連携の下、保育人材の育成やスキルアップをはじめ、子育てを取り巻く多様な課題に積極的に取り組んで参ります。

また、県では、少子化対策の取組として、企業や男性等を含めた社会全体の構造や意識の改革を目指し、パートナーが協働して、子育て支援サービスや周囲の人を頼りながら、楽しみを感じつつ行う育児（＝チーム育児）の普及啓発を推進しているところです。

11月は「秋のこどもまんなか月間」です。来る11月19日（いい育児の日）には、イオンモール徳島にて、子育て家庭「チーム育児」応援イベントを開催します。当日は、ステージイベントや子育て相談会など、こどもも保護者も楽しめるプログラムを予定しておりますので、皆様も是非お越しください。

今後も、「安心してこどもを生き育てることができる徳島」の実現に向け、更なる努力を重ねて参りますので、皆様方におかれましては、県の取組に対し、より一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



ワンダーブックの保育用品

世界文化社販売株式会社

〒770-0802 徳島市吉野本町3丁目16番地2
TEL(088)653-7607
FAX(088)653-7874

Gakken すべては子どもたちの笑顔のために

(株)学研エリアマーケット徳島営業所

☎770-0046 徳島市鮎喰町1丁目24番3

Tel : 088-638-0017

Fax : 088-638-0019



全国私立保育研究大会を終えて



徳島県私立保育園連盟 会長 大和 忠広

暑い暑い、暑い日々も、いよいよその終息の兆しが、感じられる頃となりました。強い日差しの中に、秋風が感じられます。早朝、思いもよらない涼風に、長袖に急いで替えることもあります。耐え忍べば季節は移ろいで行くものだということを、知りました。こんなこと、こんな思いを感じて「うん。うん。」などと納得しているのは、私だけではないと思います。

さて、その計画が実施されるまでに5年を要した全国大会が、6月16日に式典、分科会、交流会等全日程を終えることができました。会員の皆様におかれましては、理事会、評議員会等お忙しい中にもかかわらず、多大なご協力をいただき感謝し、お礼を申し上げます。あとは大会報告集、決算を残すのみとなっています。もうひと頑張りとなっております担当班の方々、最後まで集中を切らさないよう、よろしく願いいたします。全てをなし得て、その時こそ全国大会の終結なのです。頑張りましょう。全国の保育関係者の方々に、まけまけいっぱい徳島の心を届けるために。

この大会をみんなの力で終えることにより、私達に何が残るのと思いますか。私はこういう風に思うのです。とてつもなく大きなものに挑戦する時、一人の力は知れています。無いに等しいものなのです。何を一つとしてできない自分を小さくて微細で、何もできはしない一個人に思うものです。しかし、徳島県私立保育園連盟という集まりには、100人を超える仲間がいるのです。1本の矢は弱くても3本になれば容易に折れない。100本纏まれば百戦錬磨の敵にも立ち向かう力が持てるものです。そして私達が得るものは、個人的にみると、自分のみに得られるものは達成感以外には何もなく、全体で大きな和と各々の力を結集するととてつもなく大きなものに立ち向かう力が生まれ、結果として生まれる大きな自信と絆ではなかったでしょうか。

これからの徳島の保育業界がこの大仕事とともに全ての会員が得た、勇気と自信と絆の素晴らしさこそが財産になることと信じます。また、徳島の大きくて強い絆は全国に誇ることでできるものなのです。

大会中に間違いもあり、失敗もあり、助け合い信じあえたことがこの大会の成功につながり、全国から参加された保育の仲間達から絶賛を得られたのだらうと思えます。徳島は、不便だったけど、優しい心遣いが感じられた。おいしいものを腹いっぱい食べることができた。そんな評価をいただいています。私達の大会を実施するにあたっての思いが、伝わったものと思います。まけまけいっぱいの思いと、まけまけいっぱいの愛情がこぼれんばかりに参加者に伝わったのでしょうか。主催し実施するものが心をひとつにして、一生懸命頑張った結果なのです。証なのです。大会はすべてを終えようとしています。これから私達の進む道は、和と絆それに自信を持って歩むことができます。

全国大会は、これから半世紀回ってこないといわれています。しかし30年を過ぎれば、分からないことです。

次なる大会に向けて、この大会で得た幸せを、全国に送り続ける努力を忘れてはならないのです。今の私達が未来に向けて、徳島発全国行、幸せ宅配便になりましょう。また、次世代のために、現在に活動する者の仕事として。「えっ、何をやるの。」それは、お礼なのです。徳島発全国便、まけまけいっぱいの心を込めた『お礼』なのです。また長い旅ですね。今度は5年ではありません。もっと長い時間になるものかもしれません。未来の徳島のための仕掛けが今から必要です。時間は無限大にあります。頑張りましょう。本当に会員園の皆様、ご苦労様でした。ありがとうございました。まけまけいっぱいの感謝を込めて。

幼児の豊かな生活環境をめざす
徳島チャイルド社

電話 **088-674-6050**
FAX **088-674-8336**

〒779-3234 名西郡石井町石井字白鳥230

子どもにやさしい地球を残そう

ひかりのくに徳島有限会社

〒779-3404 徳島県吉野川市山川町川田869-4

TEL 0883(42)2220

FAX 0883(42)6300

〒770-0035 徳島市南佐古5番町2-37

TEL 088(652)0350

FAX 088(655)9066



第65回全国私立保育研究大会徳島大会

御 礼

第65回全国私立保育研究大会徳島大会 実行委員長 若松 義明

第65回全国私立保育研究大会徳島大会を、「子どもの笑顔∞まけまけいっぱい ～子どもが真ん中の社会を目指して～」をテーマに令和5年6月14日から3日間の日程で開催しました。

本大会には、全国各地より1,600名を超える皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。参加者からも大変好評をいただきました。これもひとえに本大会の運営に携わってくださりました皆様のご尽力あってのことと改めて感謝申し上げます。

さて、今回の大会では、汐見稔幸先生に「子どもに温かいまなざしを注ぎ合う地域社会の拠点となる園をめざして」、忽那賢志医師に「コロナのこれまでとこれから私達の暮らしはどう変わり、これからどう変わっていくのか」としてご講演いただきました。大会2日目には、多数の分科会が行われ、それぞれの発表について活発な討議及び意見交換がなされました。

これからも、私達の社会において保育の重要性はますます高まっていくことでしょう。今回の経験を活かし、今後の活動にご活用いただければ幸いです。

この度は、本当にありがとうございました。



渉外班部長報告

みのり乳児園 加藤 仁

3日間会場で、多数の参加者の皆様と接している中で、今大会を無事に終えました。

5年前の熊本大会後に部長を拝命し、先ず何をしたらいいのか、役割分担表を見ると広報用のDVD作成、広告協賛、出店業者依頼等多岐にわたるものばかりでした。さあ準備に取り掛かろうとした矢先に、コロナ感染症によるパンデミックが起これ、全てにおいて身動きが取れない状況となりました。その間、札幌・大阪と2つの大会が中止となり残念な気持ちの中、徳島大会に向け希望をもって動き出しました。コロナに打ち勝つ勢いで準備に奔走しました。

各保育園から提出いただいたパンフレット用の写真を広報DVDに活用し作成するとともに、財政班と連携して広告協賛金を多くの方々から頂くことが出来ました。また、出店ブースについては、事務局が手配等していただきスムーズに段取りが出来たと思います。

これもひとえに、県内民間保育園の方々が、今回の徳島大会に対する「おもてなし」の精神を十二分に理解し取り組んできた賜物と感謝しています。また、全国の参加者からたくさんのお礼の言葉をいただき嬉しい限りです。この喜びを渉外班の各委員の皆様とともに分かち合いたいと思います。有り難うございました。





財政班部長報告

のぞみ保育園 松下 直弘

今回は「全国大会特集号」ということで原稿依頼がありました。令和元年6月に実行委員会立ち上げがありました。決算の関係上解散式はまだですが、新型コロナという世界史に名を残す感染症が解除になってからの開催となりましたから、4年を優に過ぎています。4年を振り返りますと、小林全国会長が逝去されましたし、大和会長の奥様もお亡くなりになりました。この文章を初めに書くと「不謹慎だ」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私はこの部分も大切ではないかなと考えています。令和2年1月全体会終了後奥様から「大変だけど一緒にやってみましょう。頼むわな」の声が今も残っています。振り返れば私の先代もなくなって2年になろうとしているからです。閉会式にはなぜか右目に先代が、左目には会長の奥様が映り涙が出ました。やはりみんなが空から見てくれたのだと…。本当に長い4年間でした。延期に次ぐ延期でしたから…。実行委員長様の涙に重責を感じ感動を与えてくれました。私は火曜日出発前にお墓に行き「今から事前準備、明日から全国大会に行ってくる」旨話してきました。各園や個人それぞれを見ても4年間で様変わりしたことって何かありませんか？話は変わり、裏方を見事務めてくださった県社協の方々、各園の職員さんにも感謝しなければなりません。ある人数を捌くには人海戦術も必要と考えるからです。そんなことを考え始めると道が見えてきます。我が法人には法人の道が、県私保連にはこれからの道があります。道に終点はあるのでしょうか？それとせっかくつながった絆です。その絆が何年も何10年も何代もつながり続けていくことを願っています。そして地方と全国の結びつきがより強固となり、日本史上初めてとなる少子化に対抗する術を導き出してくれることを…。本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。お世話になりました。「近頃世の中にはやるもの 詐欺に おべっかに どうでもいい人 自身以外考えられない人 『自分、自身』だけの世の中で泣くのは いつも正直者ばかり 涙を拭いてお越しなせえ 県私保連が陰膳据えて待っておりやす」

分科会班部長報告

とくしま健祥会認定こども園 田中 育美

分科会班においては、幾度の事前打ち合わせ会等、入念な準備を積み重ね、当日を迎えました。大会2日目、23の分科会にはたくさんの方が参加し、それぞれのテーマで各園や地域の取り組みが紹介されました。分科会は同じテーマに興味・関心を持つ参加者が集い、フロアでは実践報告や提案について、参加者から活発な意見が飛び交う中で、価値観の多様化、相対化を認め合い、気づきを共有しながら、学びを深めることができました。また、フィールドワークでは徳島の名所を巡るツアーで徳島の文化に触れながら、参加者一人一人の五感に響く時間になったことでしょうか。第65回全国私立保育研究大会徳島大会の開催がオンライン形式ではなく、対面形式だったからこそ、その場所、その時間、その語りにも臨場感を感じることができたのではないのでしょうか。今回の分科会で学び得たものが1つでも2つでも現場での保育・教育に活かされ、子ども達の豊かな育ちにつながることを願っています。

スタッフ一人一人が個の力を発揮し、大きな徳島の力となりました。たくさんの方をお迎えすることができた喜びとみんなが心を1つに最後までやり遂げた達成感、安堵感、そして何よりたくさんの方々に支えられ、盛大に開催できたことに感無量の思いがこみ上げてきます。最後になりましたが、この大会を通して出逢ったすべての方々にもまげまげいっばいの感謝の気持ちです。ありがとうございます。





懇親会班部長報告

川内南アコールこども園 新見公美子

平成31年3月12日、第1回目の実行委員会が発足した当時、初めは右も左もわからないような状態で、私自身も懇親会班の部長を任され不安でいっぱいだったのを覚えています。「徳島で何が出来る」ではなく「徳島だから出来るおもてなしを」とポジティブに考えました。

前置きが長くなりましたが、懇親会では大変お世話になりました。皆様のご協力のもと盛大に催すことが出来ました。当日それぞれの役割をきちんと果たしてくれ、暑い中すだちくんやトクシィちゃんの着ぐるみに入って頑張った懇親会班の皆様ありがとうございます。お土産の団扇も徳島らしく県外の方に好評でした。また、青年保育者連合会の皆様には「はなれや」でのおもてなしに頑張って頂きありがとうございました。

お料理は徳島の味がふんだんに盛り込まれ皆さん美味しそうに召し上がっていました。福富弥生さんはソフトで綺麗な声で「ここにしかない徳島」などの曲を歌って、徳島のアピールに一役買ってくれました。

何といっても圧巻は娯茶平連の阿波踊りでした。会場の後ろまで踊り子さんが来てくれ、皆で阿保になって踊り狂いました。あちらこちらで出来た輪からは「はいはい!」との掛け声が聞こえ、踊っている皆さんの顔は子どもの様で徳島の夜を楽しんで下さっていました。

最終日の本部長・実行委員長の涙の挨拶には心打たれました。やっと終わったとの思いと共に一抹の寂しさも感じました。

最後になりましたが、何もわからない私達を陰から支えて下さいました事務局の皆様本当にありがとうございました。皆さまが居なかったら今回の成功はなかったと思います。



資料制作班部長報告

正興寺保育園 吉田 正憲

資料制作班は、大会PRチラシの制作から始めました。大会テーマが「子どもの笑顔∞まけまけいっぱい～子どもが真ん中の社会を目指して～」に決まったことを受け、保育中における子ども達の笑顔を集めると共に、徳島の名所写真を入れて、徳島大会をアピールする大会PRチラシを考えました。

その後、大会宣言文の原案作成、ユニフォームのデザイン検討、お土産品の検討、各資料のデザイン選び、報告書作成の役割決めと進めていきました。

大会前日には1,600部を超える資料の袋詰めを行いました。詰めても詰めても終わりが見えず、くたくたになりながらの作業でしたが、予想以上の多くの皆様方にお手伝いいただき、予定時刻より早く詰め終わることができました。前日に一致団結した姿が見られたことは、今大会の成功を予感させるものでした。

大会が無事に盛大に開催され、大会報告書の作成をもって活動終了となります。

資料制作班の皆様をはじめ、資料制作班以外の多くの皆様にお手伝いいただきました事、また助けていただきました事、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。





舞台進行班部長報告

青年会議 部長 大石 智弘

令和5年6月14日～16日にかけて開催されました、第65回全国私立保育研究大会徳島大会。無事に終えることができました。

ご協力いただきました先生方、また職員の皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

青年会は、舞台進行班として活動してきましたが、大会前日・当日になるまで、実感が湧いてきておりませんでした。イメージだけで大会実行委員会を毎回こなして来た記憶しかありません。ですので、当日は不慣れなこと、また、不行き届きの点が多々あったかと思っております。

しかし、全国に出向けば、「徳島大会本当にお疲れ様でした。コロナ明けの初の大会をこんなにも盛大に盛り上げていただき、本当に感謝します。」との温かいお声がけを毎回いただき、不満の声は一切聞いておりません。

徳島大会は、まけまけいっぱいのおもてなし、そして笑顔で大会を無事に終えることができたことと今となっては実感が湧いて来ております。

本当に、皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



徳島県青年保育者連合会 令和5年度 青年会議活動報告

徳島県青年保育者連合会 会長 大和 友就
青年会議 部長 大石 智弘
日保協担当 部長 盛 利彦

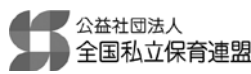
全国私立青年会議全国大会

令和5年11月1日2日に開催されました、第42回全国私立保育連盟青年会議広島大会「こども達と平和な未来を～そりゃあ平和が一番じゃろぉ～」では、徳島県青年保育者連合会から多数の先生方が出席して頂き、また研鑽してきたところです。また、徳島大会のお礼もしてきたところです。

参加して頂きました先生方におかれましては、大変ありがとうございました。



[全私保連推奨] 各種団体保険制度



ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間 (中途加入可能)

「園賠償責任保険 (新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯)」
「園児団体傷害保険 (学校契約団体傷害保険)」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間 (中途加入可能)

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りにすることに加え、自転車条例で義務化されている個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881
FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険 (レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険 (傷害保険) の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨 (総代理店)

導入費用
無料



「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

利用料無料!

契約更新後も料金そのまま!

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格になりました!

ひと月あたり 5,000円 (税別)

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>

新園(所)長紹介 (園長名五十音順)

鴨島中央認定こども園 稲井 仁美

本年4月より、多田和子前園長から引き継ぎ、社会福祉法人鴨島ひかり会鴨島中央認定こども園の園長に就任いたしました稲井仁美と申します。

4月当初、四歳児から「園長先生になったんでしょ、頑張ってるね。」と、手を振り勇気づけられたことを昨日のことのように思い出します。

本園は、鴨島町の中心部に位置し、周辺には住宅が多く静かな環境の中にあります。園庭には四季が感じられるように木々があり、小さな生き物と触れ合ったり、どんぐり拾いをしたりと、戸外で伸び伸びと遊ぶ子ども達の元気な声が響いています。

園生活の中で、子ども達一人一人は愛され大切な存在であるという自己肯定感が育つように、子ども達の気持ちに寄り添い、職員一同愛情をもって教育・保育に取り組んでいます。また、日々の遊びを大切にしている、発達段階や季節に応じた遊びに必要な環境を整え、友達や保育教諭との遊びの中で様々な生きる力の根っこ（非認知能力）が育まれていくことを願っています。



これからも、保護者の皆様と共に子ども達の成長していく姿を喜び合い、信頼関係を築いていきたいと思ひます。そして地域の方々にも愛され信頼される園となるように、職員と力を合わせて努力してまいります。

今後ともいろいろな方々からのアドバイスを受けながら、園長として少しずつ成長していきたいと思ひますのでご指導のほどよろしくお願ひいたします。



川島かもめこども園 大西 恵美子

本年4月より、社会福祉法人かもめ福祉会川島かもめこども園の園長に就任いたしました大西恵美子と申します。本園は、公私連携の施設であり、約10年前に川島庁舎を川島こども園へとビフォーアフターをした施設です。そのため色々な面で不便を感じたり、戸惑うことも多々ありますが、前川島こども園の先生方にお聞きしたり、職員一同知恵を出し合い協力し合って前に進んでいます。

本園の教育保育は、「じょうぶなカラダと豊かなココロの育成」を基本として、「元気・勇気・根気」の3本の木（気）を育み、子ども達自身が「生きる力」を身に付けることです。その目標にむかって、職員一丸となり子ども達のサポートや援助、関わりを大切にしています。

私が本園の園長になり、一番驚いたことは地域との交流の多さです。川島春秋松寿会の方がゴーヤの苗植えをしてくださり、また近隣の中学校からは綺麗なマリーゴールドの苗をいただきました。先日は敬老の日のお祝いの席に5歳児が招待され、楽しい時間を過ごさせていただきました。

12月には、本園を訪問してくださる行事も控えています。全て周りの方々からのお誘いであり、大変恵まれありがたいことと思ひます。これまでのつながりを大切に、今後も引き継いでいきたいと考えています。

事務作業が多く、パソコンが大の苦手で毎日四苦八苦ししている私ですが、周りの若い先生方はいつも優しく教えてくれ、助けてくれます。心の中で感謝しています。私は、子ども達にも周りの人への「ありがとうの気持ち」（感謝）をもってほしいと常に思っています。周りの大人や友達・先生にも素直にありがとうの言葉が言える子ども達になってほしいと願っています。園中、「ありがとう」の言葉が飛び交う園であってほしいと思ひます。



毎日職員室で事務作業に追われ、アタフタしながらも時折届くお庭の花のブーケやしろつめ草の指輪のプレゼントで癒されています。

今後も保護者の方が安心して預けられる施設を目指して、子ども達に身近に感じてもらえるような園長先生でいたいと思ひます。

皆様、これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。



いしいキッズ 佐藤 睦子

本年4月より、いしいキッズ園長に就任いたしました佐藤睦子と申します。保育士として発達支援などを学び、前年度までいしいキッズで副園長をさせていただいていました。

本園のある石井町は田園の自然に恵まれた環境と医療機関や商業施設もあり暮らしやすい地域です。1歳児までの乳児保育をいしいキッズが行い、同法人のさくら認定こども園が2歳児から就学前までの保育を行っています。価値観が多様化する中で、こどもが「生きる力」を



付けるために、保護者の方や地域との連携を大切にしながら、保育園が親子にとって安心できる居場所となりたいと考えています。そのためにも、初めての子育てや保育園生活で不安も多い保護者の方に寄り添い、悩みを話し不安を和らげて欲しいと願っています。そして家族が安定し、一人一人のこども達が自己肯定感を持つ育ちに繋げて行きたいです。また、自分らしく生きる力を養うためにも、「やりぬく力・がんばる力・気持ちをコントロールする力」を育む関わりを日々行いたいと思います。ご指導のほどよろしくお願ひします。



すみれ保育園 柴折 和代

本年4月より、大石前園長から引き継ぎ、社会福祉法人はぐくみ会すみれ保育園園長に就任いたしました柴折和代と申します。この度園長となり「私にこんな大役が務まるのか…」と不安と重責に押しつぶされそうになりますが、前園長や職員仲間の支えと子ども達の元気な声や笑顔に助けられ、今私に出来ることを一生懸命やっいていこう、と日々奮闘しています。

本園は、平成19年に鳴門市より民間移管を受け開園しました。自然豊かな環境に恵まれ、春には近くのれんげ畑で遊ばせてもらったり、夏にはれんこん農家の方から頂いた蓮の葉を使って水遊びを楽しんだり、地域の方とのつながりを大切に保育を行っています。そして、開園翌年には本園の特色の1つとして、総合幼児教育研究会に加盟しています。総幼研教育は「何ができるか」ではなく「何が育っているか」の非認知能力を育む教育であり、子ども達が20年後30年後、大人になった時に生きてくる力を育む教育です。「三つ子の魂百まで」ということわざがあるように、乳幼児期は人格形成の基礎が出来上がると言われています。このような大切な時期の保育を担う私達は責任重大です。子ども達が今後成長し、より良い大人になるために当法人が大切にしている、子ども達一人一人の個性、そして心を大切にしながら毎日の保育に取り組んでいきたいと思っています。



今年5月、新型コロナウイルス感染症の取り扱いの移行により子ども達を取り巻く環境も変化し、コロナ前の光景に近づいています。これからも感染症対策を行いながら、職員一同よりいっそう保育に努めていきたいと思っています。皆様のお力添えをいただきながら頑張っていきますので、今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。



すぎの子保育園 柴田 由美

すぎの子保育園に勤務させていただき、長年保育士として保育現場で子ども達と過ごして来ました。3年間の管理職を経て、本年4月より、前中川園長の後を引き継ぎ園長に就任しました。

園長としての責任の重さを実感し、慣れない業務に力不足を痛感していますが、子ども達の笑顔に癒やされ、パワーをもらい、職員に支えてもらいながら日々頑張っています。

すぎの子保育園は、今年で46年目を迎えます。昨年は、卒園児や保護者のご支援のもと念願だった園庭を広くすることができました。広くなった園庭で子ども達は、お友達と一緒に集団あそびや鬼ごっこ・ボールあそびなど、思い切り体を使ってあそぶことができるようになり、元気いっぱい楽しい声が園庭に響いています。園庭の端には畑も作り、子ども達と一緒に季節の野菜を植え、収穫を楽しみに栽培しています。職員も今まで出来なかった生活体験やあそびが出来るようになり、保育への夢がふくらんでいます。園庭での保育を充実させながら、これまで同様に園外保育にも出かけ、いろんな体験・生活を通して子ども達に就学までの大切な力を育てていきたいと思っています。



子ども達をとりまく環境は厳しく、保育情勢も変化しています。子ども達を守り育てていくために、職員と共に学習し、保育内容や安全面などの見直しをしながら保護者の方が安心して保育園に預けていただけるように職員と力を合わせて努力していきたいと思っています。

今後ともご指導、ご助言をよろしくお願い致します。



藍住南ひまわり保育園 筒井 美和

令和5年2月から社会福祉法人蒼生会藍住南ひまわり保育園園長に就任いたしました筒井美和と申します。私は、約11年間当法人の保育士として勤めた後、園長になりました。現在、多くの職員に助けられながら、園長の業務を行っています。また、園で素敵な仲間恵まれたことに日々感謝しています。

本園は、藍住町の中心部に位置していますが、周辺には水田などがあり、田植えや稲刈り、カエルの鳴き声が響くなど四季折々の自然が感じられる環境にあります。

敷地面積は6,478.00㎡と、広さにこだわったため、現施設の土地に出会うまで3年以上の月日がかかりました。こだわりを持つのは、子ども達が広い園庭でしっかり体力をつけること、築山など起伏を作ることと体幹を鍛えることが理由の1つです。なぜなら、全国的に子どもの体力が年々低下していることは明らかで、それが生きていく上での意欲にも繋がっていると言われていたからです。今だけが良ければ良いという考え方ではなく、子ども達が将来、人生を豊かに生きるための基礎作りをする重要な時期をここで過ごすという社会的責任の重みを感じています。自然豊かな園庭で、子ども達が心の底から笑い、戯れている姿や、表情豊かに主体的に遊んでいる姿を見て、保護者の皆様から「遅くなった」「積極的に友達に関わるようになった」との声が多く聞かれるようになりました。

子ども達が毎日遊んでいる園庭には、モクレンやサルスベリ、ブナ、シャインマスカットやキウイなど25本の樹木を植えています。この木がどんどん大きくなり、やがて子どもの心を揺さぶる素敵な森のような園庭になれば良いなどと楽しみにしています。



また、子どもが自分で考え決定し、行動できる環境を大切にしていますが、そこには保育士が「子どもを信じる」ことが前提になります。

このことから、子どもの最善の利益を考慮する保育とは何か職員間で常に議論し、豊かな感性と人間関係を育むために必要なことをともに考え、保育現場に反映させています。そして園長としての重責を果たし、日々精進して参ります。皆様、どうぞよろしくお願い致します。



山瀬かもめこども園 中野 朱美

この度、社会福祉法人かもめ福祉会山瀬かもめこども園の園長に就任いたしました、中野朱美と申します。

本園は、吉野川市の西部山川町にあり、美しい清流「四国三郎」吉野川と野鳥などが多く生息するほたる川に挟まれた自然豊かな環境に恵まれ、また、美郷地区にも近く、春にはつつじ祭り、夏にはほたる祭りでにぎわう地域に位置したところにあります。



当初は、山川東保育所でしたが、平成30年度より幼保連携型認定こども園としてスタートし、0歳児から小学校就学前までの一貫した教育、保育を行う中で「丈夫なカラダと豊かなココロの育成」を基本方針として、一人一人に即した援助を行いながら「元気」「勇氣」「根気」の3本の木（気）を育み、「生きる力」を身に付けることを目標とし、子ども達が伸び伸びと園生活を楽しんでいく中で、個性を発揮し、自分のまわりにある小さないのちを大切に出来る、やさしく思いやりのある子どもになってほしいと考え、職員一丸となって日々、保育・教育に努めています。

また、こども園・家庭・地域がひとつになり子どもの成長を地域全体で見守っていく体制を築き、乳幼児と保護者の居場所になるように保育・教育の充実に取り組んでまいりたいと考えています。

今後とも、ご指導の程よろしくお願い致します。

沖洲こども園 西岡 一郎

令和5年4月より、徳島市の沖洲こども園でお世話になっている西岡と申します。前職は公立小中学校に38年間勤務していました。そのため、保育・教育の世界にはなじみがあり、小学校教員時代からお世話になっている園長先生方も多数おいでて、心づよいなと思っています。ただお預かりする子ども達の発達段階や、公立と私立といった文化の違いに学ぶべきことが多く、今は唯々業務を前にして頼りない自分を感じる毎日です。一方で園長会でお会いする園長先生方、各種研修会で一緒する保育教諭の先生方からは、本当に温かく迎え入れていただいていることを様々な場面で感じ、それはひとえに大和会長をはじめ徳島県私保連の皆様の懐の深さだと感謝するばかりです。

さて、本園は「社会福祉法人わかば会」が運営する「わかば会」3園目の認定こども園です。そして幼保連携型認定こども園として、令和4年度に開設したばかりの生まれたての園です。一方で運営主体である「わかば会」の歴史は古く、およそ60年の歳月を数えます。そこで、「わかば」の先人がこれまで築いてきた「わかばの芽が大きな木に育ちますように」の理念を受け継ぎ、また私保連の一員として、その名に恥じぬよう「がんばっていこう」と職員一同、思いを一つにしています。そして沖洲こども園は、これからも私保連の多くの皆様のご指導を賜り、地域みんなの夢を繋ぐ子育てネットワークの真ん中にあることを使命として、今後もその「あゆみ」を進めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



南井上にじいろ認定こども園 廣谷 真由

本年4月より、徳島市からの民間移管を受け、国府町に開園しました南井上にじいろ認定こども園園長の廣谷真由と申します。社会福祉法人島田会の3園目となります。大空にかかる「なないろの虹!」のように、子ども達一人一人明るく元気に輝けるよう、そして色とりどりの個性があり「みんな違ってみんないい」という想いでこの園名になりました。

私は、前年度までは島田おひさま認定こども園の副園長をさせていただいていましたが、副園長の時より何倍もの決断力や責任感の重さを日々感じております。

園の周辺には田や畑が一面に広がり自然に囲まれている一方、新興住宅が立ち並び徳島市の中でも人口が増えている地域です。園舎は徳島県産の杉をふんだんに使用し、保育室には丸太1本そのまま使用しています。事務室は園舎の中心部にあり、広々とした平屋の園舎の中で木のぬくもりを五感で感じながら、子ども達一人一人に丁寧に関わり愛情をもって教育・保育を行っています。事務室でいると、全クラスの子どもの様子が見えたり、元気な声も飛び交い、子ども達に囲まれながら仕事を行っている感覚です。



開園して日も浅く落ち着かない日々ではありますが、子どもが「主体的にいきいきと遊べる場を提供できる環境づくり」を模索しながら、時には子ども達から学ばせてもらいながら保育を進めています。遊びを通し、自分で考える、工夫する、失敗や成功を体験し、自立していく力を身に付けてほしいと考えています。

保護者からも信頼され、地域からも愛されるこども園を目指し、職員一同力を合わせて頑張りたいと思います。まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



里浦ちどり保育所 宮北 大吾

今年度より里浦ちどり保育所の所長に就任いたしました宮北大吾と申します。

これまで私は事務長として、事務および保育に携わり、母親でもある前所長を補佐してまいりました。当保育所は令和6年度から施設形態を公私連携幼保連携型認定こども園として新たなスタートをきる予定です。地域に子どもが溢れていた昭和時代の開設から44年、少子化に歯止めがかからない中で大きな節目を迎えることとなります。この責任ある立場から見渡す景色に戸惑いながらも、頼もしい職員や仲間助けられ、元気いっぱい子ども達にパワーをもらい、4月からの日々はとても充実したものとなっています。

6月に開催されました全国私立保育研究大会徳島大会におきましては、大会宣言文を朗読させていただきました。コロナ禍により異例の大会準備期間を体験された皆様のご苦勞や、開催を断念せざるを得なかった各地の皆様のご無念、そして久々に全国から集う同志の皆様のご期待



など様々な想いが詰まった3日間でした。迎えた最終日、そんな大会が無事に終焉を迎えようとしていることに涙腺がまげまげいっぱい無限大になりながらも、何とか大会宣言文を読み上げることができました。所長就任というこの上ないタイミングで貴重な機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。

まだまだ不慣れな事ばかりですので、ご迷惑をおかけすることも多々あるうかと思いますが、今後ともかわらぬご指導をよろしくお願いいたします。



フレール館

保育用品/キンダーブック/児童図書

株式会社フレール館 徳島支店

〒770-8007

徳島県徳島市新浜本町2-3-50 坂東新浜ビル3号室

TEL 088-663-6338 FAX 088-663-3396



こども環境の未来をつくる



徳島店

徳島市末広1丁目4-14

TEL 088-626-2110

FAX 088-626-2416

エクセレント南部こども園 森 久美子

本年4月より、エクセレント南部こども園園長に就任いたしました森久美子と申します。

明るく元気な職員や、前園長にも支えられ、何よりも子ども達のかわいい笑顔に囲まれていることに幸せを感じながら務めさせていただいております。

本園は、とくしま動物園と文化の森の中間あたりに位置し、西には紅葉山と五感を通じて四季が感じられる豊かな自然環境に恵まれています。地域や保護者の皆様にも支えていただき、今年で開園八年目を迎えました。



気候のよい時季にはよく園の西側にある紅葉山の裾野に散歩に出かけます。小鳥のさえずりが間近で聞こえ、季節の花々や緑の木々に包み込まれるような美しい空間を子ども達と一緒に楽しみ、味わっています。この豊かな環境に感謝しながら、職員も自然を愛で、感性を磨き、共に成長していきたいと日々研鑽を重ねております。また本園の教育理念であります、自由に・自分らしく・自適に・自立する「J」の育みのもと、これから子ども達が幸せに生きていくために必要な力は何かを考え、日々の教育・保育に取り組んでいます。人生での根っこの部分である乳幼児期にしっかりと愛着関係を築き、それを土台として自分を愛し、人を思いやる優しい心や、のびのびと自分を表現できる力が育ってくれることを願っています。まだまだ未熟ではございますが、皆様の温かいご指導、お力添えをいただきながら頑張りますのでよろしくお願いたします。



—編集後記—

此度は「私保連とくしま第40号」をお読み頂きありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、インフルエンザ等の流行が高水準レベルを推移しており、保育施設ではまだまだ予断を許さない状況です。

さて、6月には全国私立保育研究大会が満を持して開催することができ、部員一同大変晴れがましく思っています。職員関係の分科会としては「労働環境の向上・職員の資質向上・人材育成について」等がありました。近年保育士等の処遇改善として手当が支給されるようになりましたが「人的なゆとり・時間的なゆとり」はまだまだ実感されていないのではないのでしょうか。それぞれの分科会の討議が課題解決への一助になればと思っています。又、保育内容に関しては、コロナ禍の閉塞感から解放され「子ども達の心と体の成長・新しい時代の保護者支援の在り方」等アフターコロナの保育再構築に向けての情報共有や、各園の取組を振り返るきっかけづくりにご活用いただければ幸いです。

最後に広報誌編集に当たり、今回も皆様のご協力を頂き無事に刊行することができました。どうぞこれからも皆様方から様々なご意見やご寄稿を頂けますよう、よろしくお願致します。(清重 弘子)

